

広報



AJISU

# あじす

昭和61年

1 / 1

№.409

広報あじす 毎月5日 発行

お知らせ版 毎月20日 発行

山口県吉敷郡阿知須町

発行 阿知須町役場

電話 4111番(代) ☎754-12

印刷 よしの印刷株式会社



## 迎春

### わたしの“未来都市”

あけて一九八六年。わたしたちのまわりにあるものや、社会生活はずいぶん変わってきました。そして、これからもまだまだ大きく変わっていくと思います。

一九八五年（昭和六〇年）に茨城県で開かれた“科学万博”は、科学技術を中心として、将来の方向を教えてくださいました。その主催団体、財団法人国際科学技術博覧会協会（土光敏夫会長）は全国の小学生から“未来都市”を想定する絵画を募集しました。

それに応募して同会長賞（金賞）の栄に輝いたのが井関小学校五年兼重紀子さん。ここに掲げるのはその入賞作品です。

「書いたのは四年生のときです。まちの中心に学校やスーパーマーケットがあつて、そのまわりにスポーツができるところを入れました。農業をするところは、まちの中より離れたところにおいて、新しい型の乗り物で、それらをまわっていけるようにしたらよいなあと考えて書いてみました。」—紀子

狭い町ですが、その夢をこの阿知須町で実現させようとは思いませんか。



阿知須町長

三好正之

明けまして

おめでとーございます。

皆様方には、ご家族ご一同おそろいで、輝かしい年を迎えられ、心より、お慶び申し上げます。

今年も、私も町民一同が健康で心豊かな、平和な年で

ありますことを、衷心より念願してやみません。今年は大皇陛下の、ご在位六十年という、肇国以来かつてない、おめでたい年でもあります。皆様とともに、お祝い申し上げます。

さて、昨年度は、皆様方のご協力により、町の重点施策も、計画どおり達成できたことは、感謝に堪えないところであります。

つぎに、町民長年の悲願でありました阿知須千拓が、ようやく陽の目を見るようになりました。皆様、既に新聞紙上などにより、ご承知のように、去る十二月の県議会で、阿知須千拓の基本的運用につ

いて、平井知事の説明があり今年度以降、その実現に向けて取り組むことが明らかになりました。本町としましては、これまで、昭和五十五年三月以来「地域振興整備公団」に事業の採択要望、五十六年から南工区の一部払い下げについて強く国並びに県に働きかけ、払い下げの実現に鋭意努力いたしてまいりました。今後、

県が土地利用計画を立案する過程においては、本町の策定した基本計画に沿う事業の実現に向けて不退転の決意をもってまいる所存であります。

町の意向については、これまで、国・県側との折衝の中から今回の知事発言にまで

こぎつけましたが、今後さらに、早期払い下げ実現と、テクノポリスに関連する千拓の役割を一層高め、山口県の経済浮上ばかりでなく、阿知須町の発展のためにつとめ、この上とも、物心共に豊かで、平和な町になるよう、皆さまと共に努力してまいりたいと思

います。どうか今年も、皆さま方の変わらざるご鞭撻と、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、皆様方におかれましてもご健康で幸多い年でありますことを、心より祈念いたしまして、私の新春のご挨拶といたします。

# 進展の年に

## 活用めざす

本町の地先に広がる千拓地の利用については町内・町外から関心が寄せられています。十二月十一日の山口県議会で平井龍・山口県知事からその取扱いについての方針が明らかにされました。

その要点は、「山口県が国に対して払い下げの交渉に入る」ということで、年が明ければさらにこれが具体化されます。したがって、

# 県が国と払い下げ交渉

## 二月県議会までに利用計画まとめ

昭和六十一年は阿知須町にとつて記念すべき年となりそうです。

### 本町の事業実施は 遂行状況みながら 町長の議会での報告

「阿知須千拓の払い下げ問題は、昭和五十五年、私が町長に就任以来重要施策として手がけてきたところでありますが、結論として、去る十二月十一日の県議会で、平井県知事が述べられた方向で進めさせていただきますことになりました。即ち県知事の議会答弁の要旨は『阿知須千拓地の効果的な土地利用については鋭意検討を進めて参つたと



- |        |         |          |          |           |          |        |         |         |        |        |         |         |         |         |         |         |         |         |         |        |         |          |         |         |        |         |         |        |         |         |        |         |        |         |         |         |        |          |        |         |         |             |           |
|--------|---------|----------|----------|-----------|----------|--------|---------|---------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|----------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|--------|---------|---------|---------|--------|----------|--------|---------|---------|-------------|-----------|
| 阿知須町役場 | 町長 三好正之 | 助役 蔵富士和男 | 収入役 藤田研介 | 阿知須町教育委員会 | 委員長 工藤靖夫 | 委員 兼重一 | 委員 積野憲章 | 委員 藤井直澄 | 委員 井本操 | 委員 重村勇 | 委員 松浦有朋 | 委員 小林武男 | 委員 武永典寿 | 委員 飯田宏史 | 委員 松本隆夫 | 委員 沢田隆夫 | 委員 徳永孝一 | 委員 上野政藤 | 委員 大下義明 | 委員 岡藤豊 | 委員 中村徳男 | 委員 中野新一郎 | 委員 上山隆之 | 委員 石川二郎 | 委員 桂直樹 | 委員 竹原繁雄 | 委員 長久清忠 | 委員 伊藤繁 | 委員 長久清忠 | 委員 松崎照雄 | 委員 井本知 | 委員 上田太一 | 委員 片山博 | 委員 酒井好孝 | 委員 田村三正 | 委員 武永輝男 | 委員 中戸剛 | 委員 前野千代治 | 委員 岡藤豊 | 委員 山本輝義 | 委員 小野勝久 | 阿知須町選挙管理委員会 | 委員長 木原百合雄 |
|--------|---------|----------|----------|-----------|----------|--------|---------|---------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|---------|----------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|---------|--------|---------|---------|---------|--------|----------|--------|---------|---------|-------------|-----------|





眠りから活動期へ。手前が干拓地南工区

# 干拓問題、

## テクノ関連の

ころであるが、結論として農業利用は断念せざるを得ない状況である。諸情勢からして現時点では宇部テクノポリス関連工場、住宅、公共施設用地として活用するなど、干拓地の有効利用をはかるべく、国から払い下げを受けたいと考えている。今後、具体的な土地利用計画を策定しなければならぬが、この策定については、庁内にプロジェクトチームを編成し、鋭意検討を進めて参るとともに、県議会のご意見もいただきながら真に効果的な土地利用計画を樹てたいと考えている。でき得れば二月県議会

に土地利用計画概要をまとめてお諮りし、ご承認をいただくなりば、直ちに国と払い下げ交渉に入りたい」ということとあります。

これまで、本町は、昭和五十五年三月、県知事の副申を得て、地域振興整備公団に事業採択を要望しましたが、実現には至りませんでした。その後、五十六年十月以降、南工区の一部払い下げの実現をめざして努力してまいりましたが、つまるるところは、これを突破口として干拓地全体が、早く国の手を離れることをめざすものでもありません。

そうした中で、いろいろな問題検討の結果、県が払い下げ申請をすることが最善であるとの結論に至ったわけで、本町だけで考えてみても①干拓地全体が早く国の手を離れる②埋立造成も全体を考えてやれる③土地利用計画も広い視野で考えられる④財政運営も弾力的にできる、などの利用があげられます。

いづれにしても、部分払い下げの努力が一律に全域払い下げへと大きく進展したわけで、町としましても誠に時宜を得たものと受けとめています。

今後、二月県議会までには土地利用計画をまとめるとのことです。これまで、本町でいろいろやって

きましたことを県の方でも参酌いただくとよいお願いしていきたいと考えています。また、本町の下水道終末処理については、事務の進行、事業の遂行状況等を勘案しながら対処していく所存であります。

### 町が望む公共用地 今後、県と話し合い

これからの問題としては土地利用計画の策定、県から国（農林水産省）への譲渡申請書の提出を控えています。さらに価格はいくらか、契約の時期、所有権移転の時期はいつか、埋立て（平均二・五メートル程度）はどうするかなどがあります。

また、本町が下水道終末処理場ほか公共用地を必要とする事については県と今後協議していくこととなります。

### 阿知須干拓地事業の概要

事 項	南 工 区	北 工 区	計
地区面積	95.33 ha	191.06 ha	286.39 ha
造成面積	75.17 ha	163.77 ha	238.94 ha
工 期	昭和 22 ~ 39	昭和 24 ~ 39	昭和 22 ~ 39
総事業費	千円 328,065	千円 715,549	千円 1,043,614



- 阿知須町固定資産評価審査委員会
- 委員 松本 俊
- 委員 蔵谷 寛
- 委員 白井 昭祐
- 委員 岡村 太助
- 委員 林 昇
- 委員 松本 俊
- 委員 大田源太郎
- 委員 上村 定雄
- 委員 高野 義一


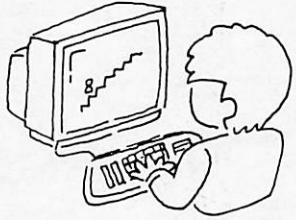


- 阿知須町広報委員会
- 委員長 大田源太郎
- 委員 上村 定雄
- 委員 高野 義一
- 阿知須町民生児童委員協議会
- 総務 松代 恒二
- 副総務 繩中 勝人
- 委員 須上 義治
- 委員 村重 政典
- 委員 伊藤 清
- 委員 中川 芳子
- 委員 工藤アツ子
- 委員 西村 誠一
- 委員 上村 定雄
- 委員 網田 次男
- 委員 田中ハナコ
- 委員 井上ミサホ
- 委員 高重フミコ
- 委員 松本 武
- 委員 片山 節子
- 委員 大田 徳久
- 委員 橋本 正夫
- 委員 藤田 治
- 委員 福永 雪子
- 委員 瀬川 直吉
- 委員 上野 豊明
- 委員 常田 泰雄
- 委員 中田 憲明
- 委員 乃美 昭介
- 委員 兼重 隆文

- 行政相談員
- 人権擁護委員
- 阿知須中学校
- 校長 瀬川 直吉
- 阿知須小学校
- 校長 上野 豊明
- 校長 常田 泰雄
- 校長 中田 憲明
- 校長 乃美 昭介
- 校長 兼重 隆文
- 井関小学校
- 校長 兼重 隆文
- 小郡警察署阿知須派出所
- 所長 早川 賢治
- 阿知須町消防団
- 団長 河村 豊
- 阿知須町社会福祉協議会
- 会長 重村 幸作
- 小郡交通安全協会阿知須支部
- 支部長 福岡 實

いま大人の人たちからどんなことをしてもらいたいですか

女 子	男 子
1. 一緒に遊んで欲しい 9人 	1. 何か買って欲しい 10人 
1. やさしくして欲しい 9人 3. 何か買って欲しい 8人	1. こづかいが欲しい 10人 3. ドライブ・旅行に連れて行って 5人

おもしろそうだなあ、たのしそうだなあ、やってみたいなあと思っていることは何ですか

女 子	男 子
1. スケート 28人 	1. テレビゲーム 26人 
2. スキー 13人 	2. スキー 19人 
3. テレビゲーム 5人	3. ラジコン 11人

小学校5・6年生

254人に聞きました

対象となった子どもたち

(単位 人)

	男	女	合 計
阿知須小学校5年生	50	50	100
井関小学校5年生	24	22	46
阿知須小学校5年生	44	38	82
井関小学校6年生	13	13	26
合 計	131	123	254

明けてトラ年。初めての当り年を迎えるのは昭和四十九生まれ、小学校五・六年生の一部です。そこで、当り年を中心に阿知須、井関両小学校の五・六年生に六項目の質問をしてみました。つまり「小学生二百五十四人に聞きました」。これはその回答集です。質問のねらいは小学生上学年はどんな考えをもっているのだろうか、それによって子どもたちを理解する資料にでもなれば……ということでした。質問は学校側の意見を聞き「子どもによく理解できる問題」「解答しやすい内容」につとめました。解答は○×式でなく、簡単な記述式としたので、さまざまな回答がみら

迎 春

- |     |     |      |      |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |        |              |                |         |              |              |           |         |         |      |             |          |       |       |       |        |             |          |           |      |      |      |      |       |      |      |      |      |      |      |      |     |      |      |
|-----|-----|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|--------------|----------------|---------|--------------|--------------|-----------|---------|---------|------|-------------|----------|-------|-------|-------|--------|-------------|----------|-----------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|
| 寺河内 | 中条村 | 縄田北  | 東田南  | 築地   | 恵比須 | 南祝   | 北祝   | 前山   | 小古郷南 | 小古郷西 | 小古郷東 | 白松苑  | 共立病院 | 同仁病院 | 阿知須郵便局 | 山口銀行阿知須支店支店長 | 吉南信用金庫阿知須支店支店長 | 阿知須町商工会 | 阿知須漁業協同組合組合長 | 阿知須町農協同組合組合長 | 環境衛生組合連合会 | 更生保護婦人会 | 母子寡婦福祉会 | 遺族会  | 子ども会育成連絡協議会 | 老人クラブ連合会 | 青年団   | 青年同志会 | 井関婦人会 | 阿知須婦人会 | 阿知須町文化を高める会 | 阿知須町体育協会 | 防犯連絡所指導員会 |      |      |      |      |       |      |      |      |      |      |      |      |     |      |      |
| 中本清 | 福田勉 | 杉谷計祐 | 正司重徳 | 山本松三 | 富田実 | 大沢義雄 | 縄田太甫 | 中尾哲夫 | 岩井久生 | 高木末一 | 橋本三治 | 岡崎康次 | 上杉春見 | 末永敬治 | 沖永正明   | 三隅恒夫         | 河村秀政           | 高野義一    | 佐々木多生        | 吉武裕次         | 林寿雄       | 江本忠雄    | 江本祐光    | 伊藤博行 | 浜西忠温        | 縄田重光     | 土本佐智子 | 苑長    | 院長    | 理事     | 局長          | 中山宏      | 西中豊       | 橋本平吉 | 山本輝義 | 徳永孝一 | 尾上孝子 | 井上ミサホ | 飯田宏史 | 積野憲章 | 岡村牧忠 | 山辺国男 | 浜崎敦二 | 田中和子 | 松浦民子 | 兼定彰 | 三好正之 | 酒井好孝 |

あなたは大きくなっても阿知須に住んでいたいと思いますか

はい 70人	いいえ 25人	わからない・無回答 159人
-----------	------------	-------------------

それはなぜですか

1. 自然がある 16人 	1. 他のところで働きたい 住みたい 6人 
2. 住み慣れている 14人	2. 阿知須はいなか 4人
3. 父や母がいる 7人	

大きくなったら、何になりたいですか

女子	男子
1. 保母 22人 	1. サッカー選手 7人 
2. 美容師 12人	2. 会社員 6人
3. 先生 10人	3. プロ野球の選手 5人

大人になったら、あじすに住んでいる人たちのためにどんなことをしてあげたいですか

1. 恵まれない人やお年寄り・子どもに対してやさしく親切にしてあげる 35人 
2. 恵まれない人やお年寄り・子どもに対して募金や寄付をしてあげる 31人 
3. 環境をよくする 24人

れました。集計は広報担当の職員が行いました。集計の結果は表のとおりです。

いまやってみたいと思っ  
ていること 冬の遊びを希望  
するものが多かったが、調査  
時点が十二月であったためと  
思われます。

大人からどんなことをして  
もらいたいのか 「物を買っ  
てほしい」というのが男女合  
計で一位。特に男子はテレビ  
ゲーム、またはそのカセット  
を希望するのが多く、女子は  
「遊んでほしい」と親への希  
望がめだちます。

大きくなったらなにになり  
たいか 男子は「スポーツ  
選手」というのが計二十人。  
中でもサッカーの選手とい  
うのが目につきます。女子は「保  
母」がトップで一八%。

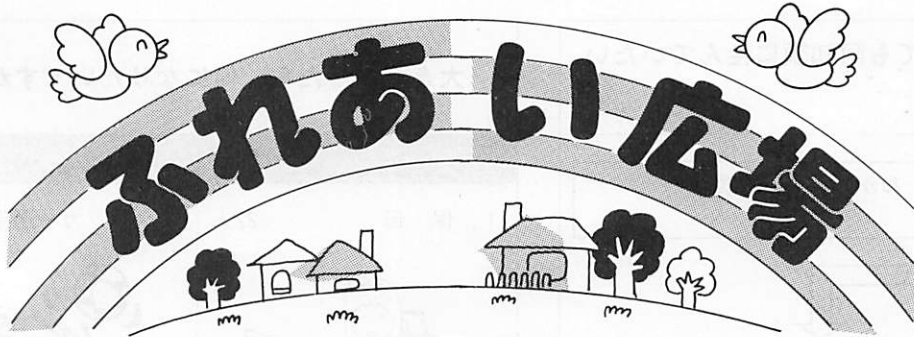
大きくなっても阿知須に住  
みたいか 有効回答率が三  
七%という状況から、質問に  
無理があったかの感がありま  
すが、回答者のうち七三%は  
「住みたい」と答えています。

大きくなっても阿知須に住  
みたいか 「わからない」  
「記入なし」が六二・九%あ  
り、質問の解釈の範囲が広く  
て回答がむずかしかったよう  
です。

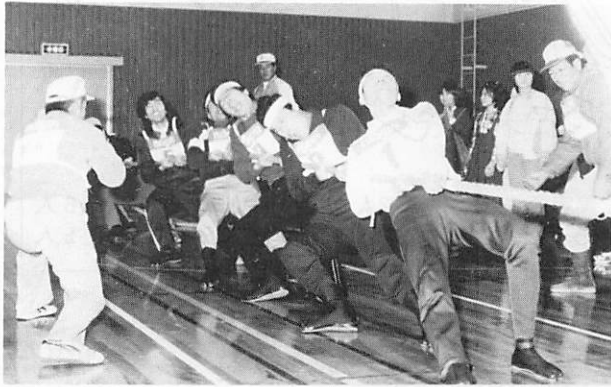


- |    |    |    |    |    |    |    |     |     |    |     |    |    |     |    |    |     |     |    |    |    |     |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|----|-----|----|----|-----|----|----|-----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|
| 焼青 | 仙引 | 源河 | 杖野 | 井赤 | 浜岡 | 門松 | 旦北  | 旦西  | 旦東 | 岩倉  | 岩倉 | 岩倉 | 岩倉  | 岩倉 | 沖の | 飛石  | 砂郷  | 砂郷 | 砂郷 | 浜  |     |    |    |    |    |    |    |
| 野畑 | 在野 | 関河 | 内川 | 口関 | 迫表 | 松北 | 西東  | 上東  | 上東 | 上東  | 上東 | 上東 | 上東  | 上東 | 原西 | 長久  | 松田  | 中野 | 西村 | 香川 | 福田  |    |    |    |    |    |    |
| 秤谷 | 小林 | 岡田 | 中原 | 正司 | 国重 | 哥川 | 久都  | 塚本  | 中村 | 藤井  | 古谷 | 藤本 | 竹原  | 中野 | 藤井 | 原田  | 原田  | 辻田 | 上野 | 日南 | 田中  | 長久 | 松田 | 中野 | 西村 | 香川 | 福田 |
| 子  | 正夫 | 春一 | 謙二 | 雅晴 | 弘之 | 勇治 | 内博  | 泰道  | 国松 | 紀子  | 範幸 | 泰彦 | 陽滝  | 嗣男 | 長三 | キクエ | 常男  | 敏明 | 寛郎 | 一成 | ハナコ | 泰  | 正興 | 菊一 | 正夫 | 清一 | 青木 |
| 同上 | 同上 | 板井 | 大田 | 国重 | 山本 | 哥川 | 兼重  | 岡野  | 西村 | 棟田  | 古谷 | 鈴川 | 伊藤  | 伊藤 | 同上 | 藤本  | 前田  | 辻田 | 田辺 | 若崎 | 田辺  | 清水 | 同上 | 松重 | 西村 | 安藤 | 青木 |
|    |    | 進  | 美代 | 恵子 | 重子 | 恵子 | サヨ子 | フジエ | 豊助 | 富士子 | 和子 | 敏子 | より子 | 安子 |    | シズ子 | 千代子 | 秀子 | 義弘 | 啓一 | 明美  | 克己 | 幸祐 | 誠一 | 裕  | 深  |    |





「ふれあい広場」はみなさんのページです。町政への提言や身近かな話題、絵画、写真など町企画課(有線二四四)へお寄せください。



### またちのついでに 綱引き大会に 三十八チーム参加

第二回体力づくり綱引き大会が、十二月二十二日勤労者体育センターで開かれました。参加チームは三十八チーム。選手たちは、地域の人たちの盛んな声援を受けて「よしよし、よしよし」と力いっぱい綱を引き、勝ったチームは思わず両手を上げて「万歳」と喜びをあらわしていました。おもな成績は次のとおり。

- ▼一般男子①福嶋牧場クラブ②とっこいしよ(浜表) ③井関壮年会▼一般女子①あじすレディース②はりきりレディース
- ③井関婦人会▼中学

### ぽくの学校 わたしの学校

1 月

#### 阿知須小学校

- 8日 始業式
- 9日 地区別児童会
- 10・11・13・14・16・17日 身体測定
- 13日 児童集会(どんど焼)
- 23日 参観日、進学説明会(六年)
- 27日 給食集金日、貯金・保険・ベルマークの日

#### 井関小学校

- 8日 始業式
- 9日 地区別児童会
- 10・13日 身体測定
- 16日 集金日
- 20~24日 視力検査
- 21日 参観日、進学説明会(六年)
- 22日 貯金日
- 25日 ふるさと学習

#### 阿知須中学校

- 7日 統一テスト(三年)
- 8日 始業式
- 10日 諸会費納入
- 11日 避難訓練
- 13・14日 身長・体重測定
- 18日 校内マラソン
- 27・28日 三者懇談(三年)
- 29~31日 学年末テスト(三年)

#### 公正人役場は毎月第二土曜日が休日に

遺言書や契約書・会社定款など、公正証書の作成で皆様に利用されている公正証書は、昭和61年1月から毎月第二土曜日が休日となります。

なお、遺言書や契約書等の作成にあたっては、公正証書を利用されると安全・確実です。山口地方務局・山口県公正人会

生男子①バレーボール部②柔道部③野球部▼中学生女子①バレーボール部②バスケット部③ソフトボール部▼小学生男子①砂郷子ども会②浜表子ども会③引野子ども会▼小学生女子①砂郷子ども会②引野子ども会③飛沖子ども会(写真は力いっぱい綱を引く選手たち)

## 短歌

御題「水」によせて

ふる里の山のあい間に湧く清水  
喉うるほせり遠き昔に  
正司 ウメノ  
立山の雪解け水は白き布垂れた  
る如しダムに落ちくる  
松尾 君代  
野の水を手を受け飲みし日もあ  
りき齢充ちてその水を歌ひぬ  
桜井 文子  
庭石にたまりし水は吹く風にお  
ずかにふるえる今朝の寒さに  
中本 幸枝  
たまり居る水をポンプで汲み出  
しつつ泥田に伸びし蓮根を掘る  
藤重 アヤ子  
青々とよどめる水面にかけうつ  
し錦絵の如し崖の紅葉は  
師井 泰枝  
夫の忌に夫の墓建つ報告し持参  
の水を注ぎまいらす  
平海 アサノ  
日の山の落葉集めに行きしとき  
谷間の清水を汲みてのみたり  
砂村 ヤス子  
初冠雪那須のふるさと水きよき  
小川の流れ思ひいだしぬ  
渡辺 宮子  
山寺の踏躰に落ちし寒椿雪解け  
水の注ぎにゆるる  
石田 サダ子  
お祓ひを受けし新車に高々とア  
レス終へたるシートを積みぬ  
木原 百合雄  
球磨川の流に沿ひてえびの原  
いづこにも湧く谷の真清水  
松代 二郎  
潮満ちて橋ひたひたの井関川朝  
の水嵩佇みて見る

#### 阿知須町民憲章

一、勤労を尊び、  
奉仕の精神で励みます。  
一、スポーツに親しみ、  
健康で明るくらしを  
築きます。  
一、生涯を通して学び、  
うるおいのある生活を  
求めます。  
一、きまりを守り、  
温かい心のふれあいを  
広げます。  
一、伝統と自然を大切に、  
住みよいまちをつくりま

藤重 幾代

思ひ出づる佛の花の水替えて祈  
りひそげきその後影  
三住 清子

とつとつと石をも穿つ打つ水の  
ことわざ思ふ襟を正して  
河合 ヨネ

方円の器に従ふ水なれど時によ  
りては山をもくすす  
村田 ウメノ

谷川のきれいな水も集まれば大  
河となりて海となりゆく  
田頭 フテ

水見では万物生る有りがたさ  
尊さを今天地より受く  
塩見 チヨコ

西日さす夕日のさしこむ緑側で  
くすりのむ水静かにゆるる  
古谷 ハナコ

あさあさに佛の花の水替へてま  
ことの我をしみじみと見し

### 町広報委員長に大田氏

町広報委員会の委員長に大田源太郎氏(六)―引野区―がこのほど決まりました。

広報委員会は町広報紙の発行について毎月、内容を審議検討します。委員は町内一般有識者の中から町長が委嘱する委員(三人)と町の課長職で構成しています。

兼重一・前広報委員長―赤迫区―の教育委員就任に伴う退任により、委員が一名欠員となっていたため、大田氏が新しく委員に委嘱され、互選の結果、大田氏が委員長に決まったものです。

一般の委員は他に上村定雄(砂郷三区・会社員) 高野義

### 身障者を対象に 県職員を募集

県人事委員会では県内に住む身体障害者を対象に、県職員を次のとおり募集しています。

- ▽受付期限 一月八日(水)
- ▽職種、採用予定人員 事務、五人程度
- ▽受験資格 自力で通勤でき、介護者なしに職務の遂行が可能な人で、次のすべての要件を満たす人

(1)身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が一級から四級までの人。

一(北祝・農協総務課長)の両氏があり、一年ごとの任期

(2)昭和三十一年四月二日から四十三年四月一日までに生まれた人。

(3)県内の住所がある人(通学などのために一時的に県外に住所がある人を含む)。

(4)活字印刷文による出題に対応できる人。

▽問い合わせ先・手続き方法 県人事委員会事務局(〒七五三山口市滝町一―一、電話

山口〇三一一一内線三九六五)まで。受験申し込み書を郵便で請求する場合は、七十円の切手をはり、あて先を明記した返信用封筒を同封のこと。

▽その他 第一次選考は一月十九日に県社会福祉会館(山口市大手町九一六)で行われる予定。

### 心身障害児の療育相談会

心身障害児療育相談会が次のとおり開かれます。

この相談会は、在宅心身障害児の早期発見、早期治療をはかるためのもので、医師や専門家が適切な助言、指導、療育機関の紹介などを行います。

▽対象 在宅障害児とその保護者

▽日時 二月二十八日(金) 午後一時―三時

▽場所 山口保健所(山口市葵二丁目五一六九)

▽申し込み 一月二十五日(土)までに、町住民課福祉係へ。

### 善意は

山口県自動車保険請求相談センターは交通事故に関する相談に専門の相談員が応じています。お気軽にご利用を。

### 交通事故の相談は お気軽にご利用を

国民金融公庫では「国の進学ローン」として進学資金の融資を行っています。

▽利用できる人 進学する人の父母または本人

▽融資額 一進学者あたり五十万円以内

▽融資期間 高校三年以内、大学四年以内

▽貸付利率 年七・〇%

くわしくは国民金融公庫山口支店(山口市中央五一―二―四七、電話山口〇三三六六〇)または阿知須町商工会(電話二二二九)まで。

山口自動車保険請求相談センター(山口市大手町七―四、山口放送ビル八階山口調査事務所内、電話山口〇六八六六) 第二土曜日は休日

②(三三五一)



出生(おすこやかに)

親の名 続柄子の名月日 住所 藤重哲也長男宏太11・29岩上

### 死亡(ご冥福を祈ります)

氏名 死亡月日年齢住所

小林 正子 11・29 72 沖の原

伊藤スミコ 12・2 77 門松

濱谷 保 12・7 61 小南

内田由美子 12・6 21 飛石

村長 守 12・7 75 仙在

(十二月十四日受付分まで)

おわび 広報十二月号(四〇八号)の五ページ四段目の記事

中「女子は百分の百十三の保険料率……」とあったのを「女子は百分の百十三の保険料率……」に、八ページの清掃センターへのごみの持ち込み時間の表で「7:00―14:00」とあったのを「7:30―14:00」に訂正します。

## 町がわ見る絵

(11月30日現在) ( )カッコ内は59年 世帯 2,280戸 (2,260戸) 人口 8,378人 (8,382戸)



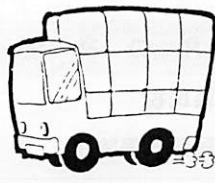
世帯構成 1世帯 3.67人 (3.71人)



出生 年間70人 (77人) 男35人 女35人



死亡 年間59人 (77人)



転入 年間 274人 (328人) 転出 年間 305人 (326人)



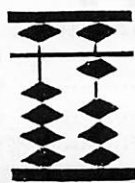
婚姻 年間68組 (68組)



町職員91人 (92人)



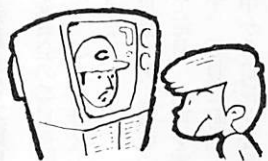
町税(当初予算) 町民税 1人当28,526円 (28,300円) 固定資産税 1世帯当113,671円 (110,316円)



町の子算 1人につき 224,790円 (193,243円)

# 町がわに見る絵

(11月30日現在) ( )カッコ内は59年  
世帯 2,280戸 (2,260戸)  
人口 8,378人 (8,382人)



白黒テレビ69台 (86台)  
カラーテレビ2,106台 (2,100台)



局線電話2,396台 (2,360台)  
有線電話1,737台 (1,662台)



軽自動車 1,715台 (1,675台)  
二輪・原付1,226台 (1,305台)



水道加入戸数 1,689戸  
(1,577戸)



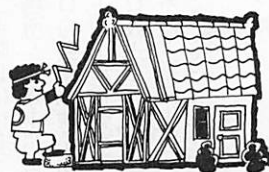
教員 阿小20人 (21人)  
井小10人 (11人) 阿中21人 (23人)



タバコ1人1日5.0本 (5.6本)



交通事故 年間 108件 (150件)



建築 年間89件 (108件)  
建築確認申請 (新・増・改築)

わすれ ないでネ

1月のメモ

- 1日 元旦に集う会 (岡山霊廟広場、前7時開会)
  - 4日 役場ご用始め
  - 5日 消防出初め式
  - 8日 明日の親・乳幼児学級 (公、前9時半)
  - 9日 俳句教室 (公、後1時半)
  - 11日 献血 (役、前9時) 親と子の本読みの会 (公、後1時半)
  - 14日 健康相談 (役、前9時半) 育児相談 (役、後1時半)
  - 15日 体力づくり耐寒ハイキング (前9時)
  - 21日 婦人学級 (公、前9時半)
  - 26日 たくましい阿知須の子を育てる町民の広場 (公、前8時半)
  - 28日 乳幼児衛生教育 (役、後1時)
- (役=役場、公=公民館)

今月の納税〜1月〜

- 町県民税
- 国民健康保険税

人の動き (国勢調査との比較)

住民登録		国勢調査	
(昭和60年12月20日現在)		(昭和60年10月1日)	
8,375人	人	8,407人	人
3,913人	男性	3,866人	男性
4,462人	女性	4,541人	女性
2,284世帯	世帯数	2,330世帯	世帯数

12月分の人の動き

出生	0人	転入	11人
死亡	6人	転出	8人

**1月5日に初め式**  
**2月16日に干拓草焼き**  
町消防団の出初め式は一月五日 (日) 午前九時から町体育センター前で行われます。式後は消防ポンプ操作、鈴割競技、五色放水などがあります。  
行事開始の八時二十分にサイレンを一分間鳴らしますの

で、火事と間違われぬようお知らせします。  
また、干拓の草焼きは二月十六日 (日)、雨天の場合は二月二十三日) に行われる予定です。  
**一一〇番通報は正しく**  
一一〇番は緊急電話です。事件、事故などで急ぐときは一一〇番で正しく通報してください。

△青電話―緊急通報専用ダイヤルがあるときは、これで一〇番する。ない場合は十円玉を入れてダイヤルする (終了後十円玉は戻ります)。  
一一〇番の通報を受ける警察は、大まかな内容が判りしだい無線で近くのパトカーを急行させ、さらに詳しい内容を通報者にお尋ねして、パトカーにこまかな指令を出します。

**いたずら電話はやめよう**  
いたずら電話は、本来に急いでいる一一〇番通報をさまたげることになります。絶対にやめてください。  
緊急性のない相談や問い合わせは小郡警察署 (電話小郡②一〇一) か阿知須派出所 (電話一〇四一、有線一一〇) に連絡を。

## おしらせ



大きい。  
公共電話から一一〇番するときは、次の方法で行ってください。  
△赤電話・ピンク電話―店の人に言ってカギで切替えてもらう。  
△青・黄電話 (緊急通報用の赤ボタン) ―受話機をとってボタンを押して、一一〇番する。

通報する人は落ち着いて次のことを言うてください。  
①何があったか (けんか、交通事故など)  
②いつ、どこで (目標物など)  
③どんな状況か (けが人がいる、事故の状況)  
④犯人は (人数、人相、特徴、逃走方向など)  
⑤あなたの住所、氏名、電話番号  
**いたずら電話はやめよう**